

安陵讃歌

作詞：藤山萬太(大高2回卒)
作曲：築地俊造(大高4回卒)

1. 春、安勝の 雲清く

松の緑は あざやかに
学びの同志は ^{とも} ^{ゆめ} 希望持ちて

同志：方言でドウシ＝友

集い来たりし 名瀬の街
ああ安陵 我が安陵 ^{とこしえ} 永久に

2. 夏、新川を ^{はえ} 渡る南風

赤木の葉音 爽やかに
学びの同志は ^{とも} 意気高く

文武の道に いそしめり
ああ安陵 我が安陵 ^{とこしえ} 永久に

3. 秋、新北風の ^{ミイニシ} ^{うみ} 騒ぐ大洋

さしばの舞の その影に
学びの同志は ^{とも} 睦みつつ

さしば：ミイニシとともに渡りを見せるサシバ鷹のことで
島の古老は「タァ」と呼ぶ

理想の彼方 見つむらん
ああ安陵 我が安陵 ^{とこしえ} 永久に

4. 冬、立神に 寄する波

黒潮の流れ 此れを指す
学びの同志の ^{とも} 意志固く

此れを指す：向学心を黒潮の流れに模して表現した

幾星は 移りたり
ああ安陵 我が安陵 ^{とこしえ} 永久に

※安陵創立百周年に先立つ2年前、大高15回卒の同窓会長、斉藤博氏他、数名から百周年に向けて大高卒業生として記念歌を残したいと、作詞の依頼があり、叩き台として3編試作し、検討されたものである(次頁に続く)

